

令和6年度 学校評価表

宮崎県立宮崎農業高等学校

部	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
学校全体	1 生徒一人一人の可能性を高める教育の推進	B	A	○マイスターハイスクール事業における専門教育の充実や、家庭クラブ研究発表において文部科学大臣賞（全国1位）、部活動等高いレベルの教育活動を行っている。
	2 豊かな人間性を育み、個性を大切にした教育の推進	A		
	3 生徒や保護者、地域の期待に応える教育の推進	A		
	4 働き方改革と教育内容の充実を図る教育の推進	B		
	5 教育環境の充実と安全な学校教育の推進	A		
教務部	1 生徒の学習活動をサポートする学習指導の充実	B	A	○他学科の授業参観等良い取り組みである。また、生徒へのフォロー体制も良い。
	2 授業等におけるICT機器の活用と検証	B		
	3 生徒の夢を実現するための教育課程編成	C		
広報情報部	1 分かりやすい効果的な広報活動	B	A	○全生徒への端末導入でトラブルが発生しても、速やかな対応がされている。
	2 校務支援システムやICT活用の支援	B		
教育相談部	1 不本意な進路変更ゼロを目指す	B	A	○生徒一人一人に細やかな支援をしていることは評価できる。
	2 個別支援に係る情報収集と研修の活用	B		
生徒指導部	1 基本的生活習慣の確立	B	A	○SNSに関する研修等も行われ、トラブルを未然に防ぐ対策もとられており評価できる。
	2 規範意識の高揚	B		
	3 生徒会活動や部活動の活性化	B		
保健部	1 感染症及び健康に対する意識の向上	A	A	○外部講師招聘事業にも積極的に取り組んでいる。
	2 健康診断に基づく健康の保持増進	B		
	3 生徒による主体的な健康安全活動の推進	A		

【自己評価】 A：目標を十分達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標達成できなかった

【学校関係者評価】 A：大変良い B：ふつう C：努力が必要

宮崎県立宮崎農業高等学校

部	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
進路指導部	1 生徒の多様なニーズに対応した進路実現	A	A	○生徒の第一志望合格率の高さからも、個に応じた指導がなされていると思われる。
	2 進路情報の共有化・データベース化	A		
	3 受験に必要な「突破力」の養成	B		
農務部	1 新規導入施設・設備を有効に活用した農業教育の実践	B	A	○インターンシップを始め、地域との連携が多くされていることは高く評価できる。 ○DX機器の活用等新しい時代を見据えた研修等を行いながら教育活動が実施されていることは評価できる。
	2 地域や関係機関との連携による人材育成	B		
生物工学科	1 主体的な行動と進路実現を図る生徒の育成	B	A	
	2 地域の期待に応える教育の推進	B		
	3 時代の変化や社会のニーズを踏まえた学科の特色化	B		
生産流通科	1 生徒の主体性と課題解決力の育成	A	A	
	2 新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の確立	A		
	3 地域の期待に応える教育の推進	B		
食品工学科	1 個に応じた丁寧な進路指導と進路実現	B	A	
	2 社会に通用する生徒の育成	B		
	3 生徒主体の授業実践と専門力の向上	B		
環境工学科	1 農業土木技術者の育成	A	A	
	2 特色ある学科づくり	B		
	3 基礎学力の向上	B		
生活文化科	1 専門的知識・技術を持った生徒の育成	A	A	○地域と連携しての取組が非常に多く、大会での結果につながっており高く評価できる。
	2 課題解決能力のある生徒の育成	A		
	3 社会が求める実践力のある生徒の育成	A		

【自己評価】 A：目標を十分達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標達成できなかった

【学校関係者評価】 A：大変良い B：ふつう C：努力が必要